

### 3 . 高知県の商圈構造

#### ( 1 ) 商圈区分の考え方と数値基準による県内商圈区分

##### 商圈区分の考え方について

一般的に「最寄品」とは食料品など日々の買い物で、必需性が高く近隣での購買が多いものを指し、「買回品」は衣料品など嗜好性が高く、比較購買やブランドなどを求めるため、遠くても商業力の強い市町村まで買い物に行くことが多いものを指している。

買回品の地元支持率や市町村間の流出入を比較することで、市町村の商業力の強弱やつながりを捉えることができる。商圈把握にあたっては、買回品の代表品目である「紳士服」「婦人服」「靴・カバン」の3品目の平均流出入比率をもとに、市町村の特徴を捉え商圈を設定した。

##### 数値基準による県内商圈区分

##### 【県内を二つのエリアに区分】

旧高知市への流出率を基準として県内を区分すると、「高知エリア」及び「幡多エリア」に区分される。

「高知エリア」旧高知市への買回品の流出が10%以上の市町村、及び旧高知市。

「幡多エリア」旧高知市への買回品の流出が10%未満で、旧中村市への流出が旧高知市への流出を上回っている市町村、及び旧中村市。

##### 【高知商圈の基準】

旧高知市への流出率が60%以上の市町村を高知商圈に含むこととする。

##### 【圏域の中心的な市町村】

他の市町村から次のいずれかの特徴を持つ市町村を圏域の中心的な市町村とする。

- ・一つ以上の市町村から10%を超える流入がある
- ・二つ以上の市町村から5%を超える流入がある

この基準によると、次の11市町が圏域の中心的な位置にあるとみなされる。

宿毛市、旧中村市、窪川町、須崎市、佐川町、土佐町、旧高知市、南国市、土佐山田町、野市町、安芸市

### 【独立的な市町村】

一定の地元支持率（地元購買率）がありながら、圏域の中心的な市町村として位置づけられないという二つの特徴を併せ持つ市町村をいう。

- ・買回品の地元支持率（地元購買率）が40%を超えている
- ・圏域の中心的な市町村として位置づけられない（「一つ以上の市町村から10%を超える流入がある」「二つ以上の市町村から5%を超える流入がある」のいずれにも該当しない）

この基準によると、これまで独立的な商圈としてみられてきた土佐清水市と室戸市はそれぞれ旧中村市、安芸市・旧高知市への流出が増加して独立性を喪失し、中村商圈、安芸商圈に包含されることになる。

### （2）商圈構造の概要

アンケート調査の結果から、買回品の代表品目である「紳士服」「婦人服」「靴・カバン」の3品目の平均流出入比率をもとに、県内の商圈区分をすると、およそ次のようになる。

#### 商圈構造の概要

まず、県内の商圈エリアは、大きくは2つのエリアに区分される。

- ・旧高知市を中心とする「高知エリア」
- ・旧中村市（及び宿毛市）を中心とする「幡多エリア」

さらに、次の8つの商圈に区分される。

安芸商圈、香美商圈、高知商圈、高吾北商圈、須崎商圈、窪川商圈、中村商圈、宿毛商圈

ところで、県全体としては、県外への流出が少なく独立的な商圈とみなされるが、県境付近の一部町村では次のような県外への流出などがみられる。

- ・県東部の東洋町は、徳島県南部の海部・海南商圈に含まれ、さらに徳島市（徳島商圈）とのつながりも大きく、買い物先は徳島県に依存している。
- ・県西部の旧西土佐村、十和村及び梶原町は、愛媛県の宇和島商圈（旧宇和島市（及び旧広見町））への流出がみられ、その影響下にある。
- ・旧本川村は、新寒風山トンネルの開通以降、愛媛県の旧西条市の影響下にある。

## 商圈構造の主な変化

基本的な商圈構造は、5年前の調査時と比べて、高速交通体系の変化、大規模小売店舗の進出などに伴い、次のような変化がみられる。

3つの商圈が消滅した。

嶺北商圈が高知商圈に吸収され、また、これまで独立的な商圈としてみられてきた室戸商圈と土佐清水商圈もそれぞれ安芸商圈、中村商圈に包含された。

野市町への流入の増加もあって、旧高知市への買い物の一極集中のテンポが鈍化した。

全県下から旧高知市への買回品の流出率平均は1.5ポイント上昇(39.4% 40.9%)しているが、前々回～前回の間が5.1ポイントの上昇であったことに比べて、旧高知市への買い物の一極集中のテンポは鈍化している。

安芸商圈 2市3町3村(22,325世帯、54,953人)

注1) 世帯数及び人口は、平成17年10月1日の国勢調査速報値、以下同様

2) 市町村数は及び市町村名は、平成の合併前の区分でカウントし表記しています。また、平成17年8月15日以前に合併した市町村については、市町村名の前に「旧」を付しています。以下同様

中心的市町村：安芸市

商圈内市町村：室戸市、奈半利町、田野町、安田町、馬路村、北川村、芸西村

安芸市、中芸5か町村、芸西村に室戸市を加えた県東部の商圈。

中心的市町村では、平成12年調査結果と比べて、以下の変化が見られる。

- ・安芸市の地元購買率は1.7ポイント低下(57.4% 55.7%)し、商圈内他町村から安芸市への流入も低下している。また、安芸市から旧高知市への流出も低下する中で、野市町への流出が増加している。
- ・室戸市については、平成7年調査では、室戸市の地元購買率は68.3%と比較的高く、同時に他地域からの流入も少なく独立性の高い商圈となっていたが、12年調査では地元購買率は49.4%、今回調査では26.2%へと低下し、併せて安芸市、旧高知市への流出の増加もみられ、商圈としての独立性を喪失し、安芸商圈に包含されたものとみられる。

香美商圈 1市6町2村(44,233世帯、114,552人)

中心的市町村：南国市、土佐山田町、野市町

商圈内市町村：香北町、香我美町、夜須町、赤岡町、吉川村、物部村

中心的市町村では、平成12年調査結果と比べて、以下の変化が見られる。

- ・野市町では、地元購買率が48.9ポイント上昇(25.7% 74.6%)し、また、赤岡

町、吉川村、香我美町、夜須町など圏域内他市町村からの流入や安芸広域圏の市町村からの流入も増加している。

- ・土佐山田町では、地元購買率が 8.7 ポイント低下 (26.5% 17.8%) し、かつ物部村、香北町からの流入も減少している。また、南国市への流出が 6.7 ポイント (16.9% 10.2%) 低下し、旧高知市への流出も 0.5 ポイント低下 (50.4% 49.9%) である中で、野市町への流出が 14.2 ポイント上昇 (2.2% 16.4%) している。
- ・南国市では、地元購買率が 2.6 ポイント低下 (38.9% 36.3%) し、また、圏域内他町村からの流入も減少している。野市町への流出が 2.1 ポイント上昇 (0.7% 2.8%) している。なお、旧高知市への流出率は 0.3 ポイント上昇 (56.9% 57.2%) している。

高知商圏 2市5町6村 (178,107 世帯、426,908 人)

中心的市町村：旧高知市、土佐町

商圏内市町村：土佐市、春野町、旧伊野町、旧本川村、旧吾北村、本山町、大豊町、大川村、日高村、旧鏡村、旧土佐山村

高知商圏：旧高知市への流出率が約 6 割以上であることを基準とすると、上記の市町村が高知商圏内の市町村となる。なお、県下の全市町村の旧高知市への流出率の平均は 39.4% から 40.9% へと 1.5 ポイント上昇している。

嶺北地域では、土佐町は大川村からの流入によって地域内で中心的な市町村の位置を保っているものの、大川村からの流入率は 5.0 ポイント低下 (32.9% 27.9%) している。また、土佐町の地元購買率は 10.8 ポイント低下 (35.9% 25.1%) し、旧高知市への流出率が 9.7 ポイント上昇 (55.3% 65.0%) した。また、本山町と大豊町も旧高知市への流出率が上昇し、地域全体として旧高知市との結びつきが強くなっていることから、嶺北商圏は商圏ごと高知商圏に包含されたものとみなした。

高吾北商圏 3町2村 (11,574 世帯、28,747 人)

中心的市町村：佐川町

商圏内市町村：越知町、旧池川町、旧吾川村、旧仁淀村

佐川町を中心に仁淀川の中上流域に商圏を形成している。

佐川町の地元購買率は 2.4 ポイント低下 (44.2% 41.8%) し、旧高知市への流出率も 0.3 ポイント低下 (52.1% 51.8%) している。

他の町村も地元購買率が低下し、特に越知町は地元購買率の低下が目立ち、中心的位置を喪失する中で、高吾北商圏の中心的位置にある佐川町への流出よりも旧高知市への流出の方が多くなっている。

須崎商圏 1市2町3村 (17,151 世帯・45,849 人)

中心的市町村：須崎市

商圏内市町村：中土佐町、大野見村、梶原町、旧葉山村、旧東津野村

須崎市を中心として、近接する中山間地域を含んだ商圏を形成している。

須崎市の地元購買率は9.0ポイント低下(62.7% 53.7%)し、須崎市から旧高知市への流出率は9.6ポイント上昇(33.8% 43.4%)している。

商圏内の町村からの須崎市への流入率は上昇しており、特に中土佐町、旧葉山村及び旧東津野村からの流入が増加している。

窪川商圏 2町1村(9,232世帯、20,527人)

中心的市町村：窪川町

商圏内市町村：大正町、十和村

窪川町を中心として大正町、十和村とともに商圏を形成している。

窪川町の家元購買率は33.1ポイント低下(60.9% 27.8%)し、窪川町から旧高知市への流出率は28.2ポイント上昇(25.7% 53.9%)している。

大正町からの窪川町への流出率が25.0ポイント低下(35.7% 10.7%)する中で、大正町から旧中村市への流出率は9.0ポイント上昇(9.9% 18.8%)している。なお、十和村から窪川町への流出率は0.2ポイント上昇(19.6% 19.8%)している。

中村商圏 2市2町2村(28,975世帯、70,443人)

中心的市町村：旧中村市

商圏内市町村：土佐清水市、佐賀町、大方町、旧西土佐村、三原村

幡多地域全体からの流入が増加しており、他商圏の町村(大正町、十和村など)からの流入もみられる。なお、大方町から旧中村市への流入は3.6ポイント上昇(76.5% 80.1%)している。

土佐清水市については、地元購買率が9.5ポイント低下(41.0% 31.5%)する中で、旧中村市への流出率は11.7ポイント上昇(42.3% 54.0%)していることから、商圏としての独立性を喪失して中村商圏に包含されたものとみなした。

三原村から宿毛市と旧中村市への流出率は、前回調査では宿毛市57.7%、旧中村市32.5%と宿毛市への流出率が高かったが、今回調査では宿毛市への流出率が26.6%、旧中村市への流出率が54.0%と、三原村と宿毛市・旧中村市との関係が逆転したことから、三原村は宿毛商圏から中村商圏に移ったものとみなした。

宿毛商圏 1市1町(12,124世帯、30,834人)

中心的市町村：宿毛市

商圏内市町村：大月町

宿毛市の地元購買率は14.3ポイント低下(77.8% 63.5%)し、旧中村市への流出率は9.8ポイント上昇(11.9% 21.7%)している。

また、大月町から宿毛市への流入率は21.7ポイント低下(82.7%→61.0%)している。

(県外の3商圈)

海部・海南商圈 1町(高知県では東洋町1,565世帯、3,383人)

中心的市町村：海南町、海部町

商圈内市町村：東洋町

徳島商圈

中心的市町村：徳島市

東洋町は徳島県南西部(海部町、海南町など)を中心とした生活圏の中に含まれ、買い物行動から見ても室戸市、旧高知市などとのつながりは比較的薄く、海部・海南商圈に包含されている。また、海部・海南商圈は大きくは徳島市を中心とする徳島商圈に包含されており、東洋町から徳島市への流出(22.6%)もみられる。

宇和島商圈

中心的市町村：旧宇和島市

愛媛県との県境に近い中山間地域である梶原町、旧西土佐村、十和村では、県内の商圈に組み込まれているものの、買回品の買い物における旧宇和島市との結びつきが強い。(なお、これらの町村は最寄品の買い物を中心に、旧広見町などとのつながりもみられる。)

表 前回調査から今回調査の間に開店した大規模小売店舗（店舗面積 1,000m<sup>2</sup>以上）

単位：m<sup>2</sup>

区分	業態	店舗名	開店	店舗面積
高知市	複合型（スーパー他）	イオン高知ショッピングセンター	平成12年	48,170
	スーパー	サンシャイン針木	平成12年	1,304
	スーパー	フジグラン葛島ショッピングセンター	平成12年	10,868
	スーパー	マルナカー宮店	平成12年	3,716
	スーパー	マルナカ旭店	平成18年	2,072
	家電	ベスト電器高知本店	平成12年	3,800
	家電専門店	コジマNEW高知インター店	平成17年	2,740
	衣料品、古書籍	洋服の青山高知薊野店&ブックオフ高知インター店	平成16年	1,672
	書籍、雑貨	T S U T A Y A 中万々店	平成17年	1,967
南国市	スーパー	マルナカ南国店	平成13年	3,400
土佐市	スーパー	サニーマート高岡店	平成12年	2,402
四万十市	複合型（スーパー他）	サニータウン四万十	平成13年	7,600
	複合型専門店	四万十ショッピングガーデン	平成17年	4,679
	ホームセンター	ディック四万十店	平成14年	2,123
	衣料	ファッションセンターしまむら中村店	平成15年	1,219
	衣料、雑貨	洋服の青山新・中村店 ダイソー&アオヤマ100円プラザ 中村店	平成15年	1,661
	専門店（書籍、家電）	サニータウン	平成16年	2,058
奈半利町	スーパー	マルナカ奈半利店	平成17年	2,295
赤岡町	スーパー	マルナカ赤岡店	平成17年	2,697
土佐山田町	スーパー	パリュウかがみの	平成14年	1,500
野市町	スーパー	フジグラン野市ショッピングセンター	平成14年	11,435
佐川町	スーパー	マルナカ佐川店	平成14年	2,444
中土佐町	スーパー	マルナカ久礼店	平成16年	1,248